

商品に関して
Q1. ヤシローラの耐久性はどのくらいでしょうか？

- A. 一般的にヤシ繊維の分解期間は約5年程度とされていますが、ロープ構造の製品は少し事情が異なります。ロープ形状が維持されている限り、さらに長期間使用可能です。
- 製造工場ではトラックやオートバイが通行する屋内通路にヤシローラを設置しておりますが6年経過した現在でも破損なく使用しております。
- 人通りがそれほど多くない公園路では、7年間使用されている事例もあります。
- 自然分解より前に、まず摩擦によってロープ表面が摩耗・破損・裂ける現象が発生します。

摩擦に対する耐久性は、一次的にはロープの撚り、二次的にはロープの編み密度に関係しており外部要因としては湿気も影響します。

公共施設や駐車場などにも設置されるため、摩擦による破損を重要視しています。

摩擦に弱い製品はすぐに裂けたり、ロープがほじけたりします。

そのため安価なグレードは耐久性が弱く、1年も経たないうちに破損しますが、ヤシローラは2年以上問題なく使用できます。

Q2. ヤシローラの静電気による火事が発生しませんか？

- A. ヤシローラ（ヤシの実の繊維）は、天然繊維の中でも静電気が発生しにくいという優れた特性を持っています。静電気の発生には「乾燥」と「摩擦」が大きく関わっていますが、ココナッツ繊維には以下の特徴があります。
- 適度な吸湿性: 天然の植物繊維であるため、空気中の水分をわずかに保持する性質があります。水分は電気を逃がす役割を果たすため、合成繊維（ポリエステルやナイロンなど）に比べて帯電しにくいのが特徴です。
 - 電気抵抗のバランス: ヤシの実の繊維は電気を通しにくい絶縁体に近い性質を持ちつつも、微細な空洞構造によって電荷が一点に溜まり続けるのを防ぐ効果があります。

素材の種類	静電気の発生しやすさ	特徴
ココナッツファイバー	低い	天然の湿度調節機能により帯電を抑制。
ポリエステル	高い	乾燥しやすく、摩擦によって強い静電気が発生。
ウール（羊毛）	中程度	保湿性は高いが、摩擦の組み合わせによって帯電しやすい。

静電気が自然発火に直接つながるケースは、ヤシローラのような天然繊維においては現実的にほとんどないとの見解でした。ヤシローラの天然繊維は摩擦が発生しづらく、静電気が起きづらいです。他社製品で、ナイロンと混合される商材もありますが、ナイロンの場合は静電気が発生する可能性はあります。👉

Q3. 天然素材だと虫は発生しませんか？

- A. 過去13年間で40FTコンテナ5,000本以上の数量を販売してきましたが、海外では虫が問題になったことは一度もありませんでした。

**Q4. 設置した後、剥がすことはできますか？**

- A. ヤシローラは置いて、U字ピンで固定しているだけなので、ピンを抜くと簡単に取り除く事ができます。
ただし、天然素材の為、経年すると土壌に分解されて一体になることもあります。

Q5. 傾斜地でも施工できますか？

- A. U字ピンで固定していますので、傾斜地でも施工できます。
傾斜地の場合は、通常時より多めにU字ピンで固定し抜けないようにする事、定期的なメンテナンス（ピンの固定）が安全上、必要となります。